

消費者等を対象とするインタビュー 調査結果について（2）

消費者庁食品表示企画課
令和6年3月

インタビュー調査の方法等

栄養成分表示のより一層の普及啓発や理解につながる取組（FOPNLを含む）について検討するため、次の（１）～（４）のグループ毎に５名程度の調査参加者を集め、フォーカスグループインタビュー調査を実施し、消費者にとって分かりやすい栄養成分表示に向けた課題抽出や改善案を質的帰納的分析を用いて取りまとめた。

- （１）ふだんの食生活において栄養成分表示を参考にしている者（一般消費者）
- （２）ふだんの食生活において栄養成分表示を参考にしていない者（一般消費者）
- （３）管理栄養士
- （４）上級食品表示診断士を持つ食品関連事業者

インタビュー調査の調査協力者

<管理栄養士のグループ>

	年齢	性別	職種等
1	30歳代	女性	医療業
2	30歳代	女性	保健衛生
3	40歳代	男性	医療業
4	40歳代	女性	持ち帰り・配達飲食サービス業
5	40歳代	女性	地方公務

<上級食品表示診断士を持つ食品関連事業者のグループ>

	年齢	性別	職種等
1	30歳代	女性	食料品製造業
2	30歳代	男性	食料品製造業
3	40歳代	女性	飲食店等
4	50歳代	男性	食料品製造業
5	50歳代	女性	食料品製造業

《論点》 食品表示との関わり

< 管理栄養士 >

栄養成分表示をよく見る

- ✓ エネルギーと食塩を中心によく見る
- ✓ 物によってはたんぱく質や糖質も見ると

食品選択の判断材料にしている

- ✓ 表示をよく見て、商品を選択するための判断材料にしている

その他の食品表示もよく見る

- ✓ 原材料や期限表示、価格など他の表示もよく見る

仕事に活かすためによく見る

- ✓ 腎臓病患者さんなどによく聞かれるのでよく見るようにし、仕事に活かしている

< 食品関連事業者 >

よく見て参考になっている

- ✓ 他社の表示が参考になるのでよく見る

参考になっている表示

- ✓ 義務表示以外のところをよく見て参考になっている
- ✓ アレルゲン表示に特に関心がある

ラベラーの性能の把握

- ✓ 小規模の事業者の表示からラベラーの限界を参考になっている

この表示は良くないと思うことがある

- ✓ 表示を担当する者として、良くない表示を見かける
- ✓ 完全栄養食という表現は、消費者に誤解を与える

《論点》 栄養成分表示が分かりにくい原因

< 管理栄養士 >

100gでの表示は誤解を生む

- ✓ 100gの表示なので換算するのが面倒
- ✓ 精神疾患や障害者、認知症の方などは100g表示だと誤解する

弁当や惣菜の表示はないか、あっても見にくい

- ✓ 店内加工の食品には表示されていないこともある
- ✓ ラベラーの性能の限界で表示が小さく見えづらい

制度が複雑なので分かりやすくすることが困難

- ✓ 栄養強調表示は複雑なので、混乱を招いている
- ✓ 直売所などの小規模事業所には分かりやすさの工夫を求めるのは難しい

< 食品関連事業者 >

表示の見た目の悪さ

- ✓ 文字の太さが細い
- ✓ 表示可能面積に限界があり文字が小さくなる
- ✓ 数字が半角表記で見えにくい
- ✓ 数字の桁数が細かい表示で読みにくい

表示方法がよくない

- ✓ 100g表示で不親切感がある
- ✓ 内容量を増減しても100g表示だと手間がかからない
- ✓ 小規模の事業者などは表示作成に不慣れ
- ✓ ポーションサイズを何gにすべきか分からない

ルールがあいまいでメーカーに解釈が任されている

- ✓ 長期保存や調理による成分変化への対応方法が分からない
- ✓ ルールが見直されていない
- ✓ 成分表（八訂）への対応方法が不明

他の表示に比べ目立たない

- ✓ アレルゲン表示や注意喚起などの他の表示を目立たせている
- ✓ 他の表示を優先し、見えづらい所に表示
- ✓ 法定表示と遠い場所に表示
- ✓ 企業オリジナルの表示が多くなり伝わりにくい

見えづらいと認識されつつ販売されている

- ✓ ラベラーの性能の限界でシールが長くなる
- ✓ 小売店での陳列方法によっては見えにくくなる

《論点》 栄養成分表示を分かりやすくする工夫 (1)

< 管理栄養士 >

表示の見た目の改善

- ✓ 文字は小さいよりは、大きいほうが色々な人にとって良い
- ✓ 栄養成分表示は横書きにして枠で括る
- ✓ 適切な位置で改行する

1個当たりと100g表示、それぞれのメリット

- ✓ 1個当たりでの表示にする
- ✓ 100g表示だと商品を比較しやすい

必要量に対する割合を示す

- ✓ 1日の必要量に対する割合を示す
- ✓ 1日の必要量に対する割合の表示は、グラフで表示する
- ✓ ターゲットを決め、ターゲットの食事摂取基準に対する割合で表示する
- ✓ 食塩6g/日や野菜350g/日など全世代共通のものは基準量に対する割合で表示する

対象となる食品や栄養成分を見直す

- ✓ 食品のジャンルによって表示の細かさや情報量を変える
- ✓ 高血圧や腎臓病など、気をつける人もいるのでカリウムを追加

< 食品関連事業者 >

目立たせる

- ✓ 文字のフォントを変える
- ✓ 栄養成分表示を枠で括る
- ✓ 目立つデザイン
- ✓ 法定表示同士を近づける
- ✓ 企業オリジナルの基準規定外の表示を整理して法定表示に誘導する

理解されやすい表示にする

- ✓ 表示値をなるべく整数にする
- ✓ ポーションサイズで表示

消費者の意見を反映する

- ✓ ユーザーの意見を聞き、取り入れていく
- ✓ 分かりにくいという理由を考える

更に情報提供する

- ✓ WEBで追加情報を提供
- ✓ 飽和脂肪酸などネガティブな情報も開示する

《論点》 栄養成分表示を分かりやすくする工夫 (2)

< 管理栄養士 >

ラベラーの性能を上げる

- ✓ ラベラーの性能を上げると表示でできることが増える

弁当や惣菜にも表示をする

- ✓ 弁当や惣菜など店内加工の食品には必ず栄養成分表示をする

包装への表示以外で情報提供する

- ✓ バーコードでスキャンして栄養量が分かるようにする
- ✓ 二次元バーコードで情報を提供
- ✓ 栄養成分表示の表記方法を統一するのは難しいのでPOPで情報提供する

適切な利用につなげる取組をする

- ✓ 栄養素必要量を計算できるアプリを開発する
- ✓ 専門家への相談につなげる一文を表示する

《論点》 包装前面栄養表示の表示方法

< 管理栄養士 >

包装前面に分かりやすく表示する

- ✓ 意識していない人も見るようなパッと見て分かりやすい表示
- ✓ 前面で完結した表示

書き方を統一する

- ✓ 統一された書き方にする
- ✓ 色で表示すると捉え方が人によって違うので統一したマークにする

食塩に特化する

- ✓ 食塩は国全体で取り組む課題なので食塩に特化する

給食でも表示する

- ✓ 食堂の給食メニューにも付け、普及・啓発につなげる

< 食品関連事業者 >

基準を決め、スコアリング型かお墨付きマーク型

- ✓ 食品のジャンルでスコアリングする
- ✓ お墨付きマーク型にする

包装前面栄養表示の位置付け

- ✓ 義務表示は難しい

表示する項目数

- ✓ 栄養成分表示 5 項目以外も含めたスコアリング
- ✓ 実行可能性も含めむしろ 5 項目で十分
- ✓ 日本の栄養政策と一致させ減塩に特化

《論点》 包装前面栄養表示導入時の 専門家から見た懸念事項（1）

< 管理栄養士 >

色での表示は難しい

- ✓ 色での表記は人によって捉え方が違う
- ✓ 色での表記はカラー印刷できる業者ばかりではない

小規模の事業者では表示が難しい

- ✓ 小規模の事業者では統一したマークですら難しい
- ✓ 1日の必要量に対する割合表示のグラフは小規模の事業者では難しい

スコアや基準量は人によって異なる

- ✓ スコア型の表示は誰にとってのスコアか分かりにくい
- ✓ 1日の必要量に対する割合の表示は、基準量がそれぞれ違い、逆に分かりにくい

購買意欲が低下する人もいれば、変わらない人も いる

- ✓ 統一された栄養成分表示は堅苦しく、購買意欲が落ちるかもしれない
- ✓ 購買意欲は変わらないか、むしろ比較するときにあるとよい

< 食品関連事業者 >

現行制度との整合性

- ✓ 包装前面栄養表示は強調表示に該当するか
- ✓ 包装前面栄養表示は推定値でも認めて欲しい

表示のデザイン

- ✓ 表示は色指定しないで欲しい
- ✓ ロゴの大きさを指定しないで欲しい

果たして意味ある包装前面栄養表示になるか

- ✓ 包装前面栄養表示も結局小さい表示になる可能性がある
- ✓ 1日の必要量に対する％表示は人によって必要量が違う
- ✓ 栄養成分表示に誘導するような表示にならない

メーカーのジレンマ

- ✓ どうしても低い評価になる食品のジャンルが生まれる
- ✓ 任意だと評価の低いものには表示されない
- ✓ 任意でも大手がやれば小規模の事業者にも求められることが心配
- ✓ 評価が高くなるように内容量を調整しかねない

社会への悪影響

- ✓ 栄養成分表示をむしろ見なくならないか心配
- ✓ 評価の高いものを選べば量を食べても大丈夫という風潮になりかねない

太字下線： カテゴリー

✓ ： コード

《論点》 包装前面栄養表示導入時の 専門家から見た懸念事項（2）

< 管理栄養士 >

栄養成分表示があまり役立たない食品がある

- ✓ 弁当など1食で食べる物でなければ、栄養成分表示はあまり役立たない

不適切なPOPが生まれる

- ✓ POPでの表示は自由度が高くなりすぎ、不適切な表示が生まれやすい

《論点》 栄養成分表示が正しく活用されるための方策

< 管理栄養士 >

普及・啓発活動の実施

- ✓ 小さい頃からの栄養に関する教育
- ✓ 消費者への教育

教育すべきことの具体

- ✓ 控える物や積極的に摂るべき栄養素の知識
- ✓ 個々人に必要な栄養量
- ✓ 表示の使い方

< 食品関連事業者 >

普及・啓発活動の実施

- ✓ 学校教育の中での教育
- ✓ 消費者への教育

教育すべきことの具体

- ✓ 法定表示の読み方
- ✓ 包装前面栄養表示の使い方
- ✓ 栄養素必要量の基準値
- ✓ 数字の意味
- ✓ 評価の低い食品の取り入れ方